


春まき草花の種子まき時期		
2005年4月	卯月(うづき)・卯花月(うのはなづき)・鳥月(とりづき)・花残月(はなのこりづき)・夏初月(なつはつき)・余月(よげつ)	●春まき草花の種子まき時期
心待ちにしていた季節の到来です。庭は、活気づき、華やいだ雰囲気があふれます。病害虫の発生が、盛んになる時期でもあるので、防除の手入れは 早めにしましょう。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウメやサクラにウメムシが発生する前に、害虫駆除を定期的に行いましょう。</li> <li>・落葉樹を「とり木」でふやすなら、この時期に行いましょう。</li> </ul>	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春まきの草花を まき終える</li> <li>・病害虫の発生がさかんになるので、早めの予防をしましょう。</li> </ul>	

今月の誕生花	チューリップ・デージー・ワスレナグサ	
今月の花	チューリップ	
	花言葉/思いやり・恋の宣言・博愛・名声 赤…愛の告白 白…失恋 黄…望みなき愛 紫…不滅の愛 緑…美しい瞳	
	チューリップは、陽光の射す方向へぐんぐん首を伸ばしていく向日性と、暖かいと花を開き夜になって暗くなると花を閉じるという性質をもっています。毎日違う印象を楽しむことができるので、アレンジメントして、贈り物としても楽しめます。色によって花言葉が違うので、TPOによって、花を選びましょう	
	原産地は中央アジア～北アフリカです。ユリ科チューリップ属の多年草。草丈は20～70cm。開花時期は3～6月。最盛期は4月。別名は鬱金香(うっこんこう)。	
オランダに、こんな話があるそうです。1人の美少女が、3人の騎士からプロポーズされました。そして、3人の騎士は、それぞれ家宝の王冠、剣、黄金を少女にプレゼントしました。ところが、少女は3人のうち誰と結婚するかを決められず、悩んだ末に花の女神のフローラに頼んで、チューリップの花に変えてもらったのだそうです。花が王冠を、葉が剣を、球根が黄金を表しているのだ、ということです。		
チューリップは、ヨーロッパの園芸の草分け的存在です。17世紀頃には、オランダで熱狂的な「チューリップブーム」が巻き起こりました。中でも、「総督」という品種の球根は、2500フロリンの金貨が支払われるほどだったといわれています。すごいですね。		

## 春の種子まき

春の種子まきは、これからどんどん暖かくなるので、秋のように「霜よけ」というやっかいな作業もなく、苗を育てるには大変楽で、誰にでもできます。初めての人は、少し遅らせて4月上旬、桜が咲くころにまくと失敗がありません。

また、春まきの草花の中でも アサガオやマツバボタンのように、高温を必要とする種類は、5月上旬に種子をまきます。

### ●種子まきの方法

箱や鉢などにまき、植え替えをして苗を育てる方法(**ポットまき・鉢まき**)と、花壇にいきなりまきつける**直まき**があります。普通、直まきは 植え替えをきらう草花でおこないますが、たいへん丈夫で成長の早いコスモスのような種類でも、しばしば行われています。

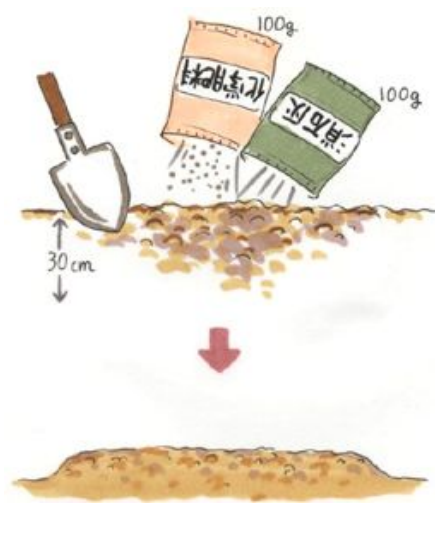
### ポットまき



小さなビニールポットに種子まきをして、苗を育てる方法です。

底には粗めの土粒を入れ、用土を入れて2~5粒くらいまきつけ、あとは他のやり方と同様で、芽が出たら間引きをして最後には1本を育てます。

### 直まき



学校や公園など 広い場所に 大きな花壇をつくる場合で、あまり手数をかけられないというときは、直まきが適しています。ただ、種子が多量に必要なのが欠点です。まきかたには、**すじまき**と**巣まき**(点まき)があります。すじまきは列にまく方法で、巣まきは間隔をおいて 数粒ずつ点々とまく方法です。どちらの方法でも、発芽してから間引きをおこなって、成績のよい少数の苗を残して育てることには変わりはありません。

まずは整地…。周囲よりやや高めに整地しましょう。

## 伸びすぎたサクラの枝はどうするの？



枝わかれのところで切る

被膜剤を塗る

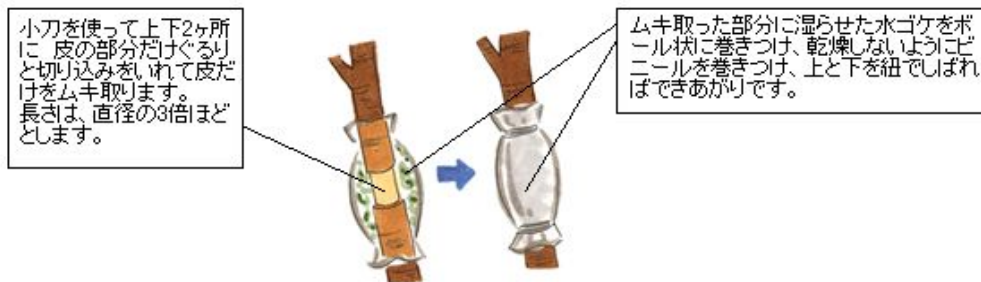
「サクラ切るバカ、ウメ切らぬバカ」といいますが、確かにサクラはウメの木にくらべて、材質がやわらかいため、切ったとき切り口から病菌がはいりやすく、枯れ込む例が多いようです。しかし、実際には 元気のよい枝の処理に困ることもあるので、その場合は、次のことに注意して枝切りをします。

- 1.必ず 枝わかれのところで切ること。絶対に太い枝の途中で切るとはさけてください。
- 2.切り口は、雨水や病菌の浸入を防ぐため、樹脂状の被膜剤をぬっておくこと。
- 3.一度に多くの枝を切ると 樹勢を弱めるのでよくありません。

## とり木をする

木の類を増やそうとするには、種子まきとさし木が簡単な方法です。しかし、種子ができなかつたり、さし木では根付きにくい種類では、たいがい接木で増やします。ところが、接木は専門的な技術で、経験のない人がすぐに成功する方法ではありません。初心者でも 比較的容易にできるのは「とり木」で、時期をえらんでマニュアルどおりにやれば、成功率が高いのです。基本的には、なんでも可能ですが、カエデ・フジ・シャクナゲ類などがよく見られます。

**とり木**・・・ 幹の中途を環状に 皮の部分だけムキ取り、そこから根をださせて切り取るやりかたです。



春に「とり木」をしかければ、だいたい3ヶ月で根が出るので、ビニールをそっと外して確かめてみます。うまく根が何本も伸びていれば成功で、根のでているすぐ下で切り、可能な程度にミズゴケを取り除き、普通の培養土で植えます。

## アブラムシの駆除

あたたかくなると、芽先ややわらかい葉に アブラムシが発生することがよくあります。成長の妨げになるので、定期的に防除しましょう。

